

「初めてミサに来られた方」を歓迎し、

親切にお世話しましょう!!

- ・他の地域(教会)からの転任者(信者さん)。
- ・学校(同志社香里高校など)から、課題の一環として訪ねて来られる生徒。
- ・その他、カトリックに関心をもって初めて香里教会を訪ねて来られる方々など...

◎私たち信徒は、誰もが、日曜日に訪ねて来られる教会訪問者を歓迎しましょう。

- (1) 聖堂へのご案内、ミサに与かる席へご案内。
- (2) ミサ中の付き添い者を紹介。できれば隣席に座ってあげましょう。
- (3) ご聖体拝領時には、司祭から祝別をいただけるよう付き添いましょう。
- (4) ミサ終了後、神父様にご紹介。
- (5) 「また来ます、よろしく。」の気持ちをもっていただけるよう配慮したいですね。
- (5) 他教会から香里教会に移籍される場合、その手続きをお教えしましょう。
- (7) 慣れて来られる段階で信徒に紹介し、挨拶を交わしていただくなどのお世話等々、特に教会が初めての方には、誰もが親切にする教会

初めての方には、香里教会の誰もが親切に対応しましょう。他教会から香里教移籍される方には、手続きのやり方をお教えしましょう。誰もが右のサービスができるよう、シンプルなマニュアル作成の予定。ご支援を！(宣教委)

「大阪高松教区」情報

昨年10月に新教区となった大阪高松大司教区は、四月から法律上も新宗教法人としてスタートしました。

東部版、西部版としてそれぞれの旧教区ごとに出されていた教区報も、四月からひとつの大阪高松教区報として発行されるようになりました。

小教区では1月7日(日)に昨年帰天されたペトロ梅原彰神父の五〇日祭が行われ、たくさんの参列者が思い出と感謝を分かち合いました。

日本語研修のために香里に居住されていたティアゴ神父は、泉南教会を経て、4月14日付で武庫之荘教会へ。香里主任の赤波江神父は、3月10日付で武庫之荘教会へ。香里教会主任の赤波江神父は3月10日付で四国カトリック会館へ。

林和則神父が垂水教会から香里教会へ着任されました。

― 香里教会では ―

**四旬節黙想会と復活祭と
林神父様の銀祝お祝い会**

香里教会では、林神父によつて、3月12日から15日までと17日に3つのテーマで四旬節黙想会が行われました。

3月31日(日)の復活祭の後、信者のみなさんにゆで卵が配られ、久しぶりのパーティで復活の喜びと林神父の銀祝のお祝い会が行われました。



編集後記

4月28日(日)の午後2時からヴェロニカの部屋で林神父様を交え、司会者を含めて8名(女性3名、男性5名)の方々にお集まりいただき座談会を催しました。テーマは「担い合う」。話し合った内容はほぼありのまま本紙6〜8頁に詳しく載せています。

この「担い合う」という言葉の持つ意味が、日頃人間社会に参加している個々人にとって、どれほど重要な意味を持つているか。互いに「担い合う」密度の濃さ如何で、個々人にとっての人生の意義、そして参加している集団の存在意義をも大きく左右するものだということの理解を深める機会になりました。この座談会で日頃の思いを吐露して下さった皆さんに心より感謝申し上げます。

あれから二カ月を過ぎた今も、私の脳裏には、発言者お一人お一人の熱意、夫々の人生観が焼き付いています。有難うございました。(大日文雄記)